

# 平成23年度 豊かなむらづくり全国表彰事業 東北ブロック受賞団体の取組概要

## 【東北農政局長賞】

～地域住民と地域外協力者との協働による自信と誇りを取り戻すためのむらづくり～

受賞団体：上岩川地域おこし協議会「房住里の会」(秋田県三種町)

### ◆むらづくりの背景・経緯

上岩川地域では、過疎化・高齢化が進む中、診療所や商店がなくなり、高齢者の通院や買い物に支障をきたすようになっていた。また、伝統行事が衰退し、地域の絆の象徴であった小学校が閉校するなど、地域に閉塞感が漂っていた。

平成18年春に定年退職し東京から帰ってきた加藤氏(現「房住里の会」会長)は、この状況を目の当たりにして地域の将来に危機感を抱き、県庁に相談に行った結果、県の農山村活力向上モデル事業を活用したむらづくりに取り組むことになった。地元の仲間と事業計画を策定した加藤氏は、活動の賛同者を募って平成21年に上岩川地域おこし協議会「房住里の会」を立ち上げ、地域住民と地域外協力者との協働による、地域の自信と誇りを取り戻すためのむらづくりを開始した。

### ◆むらづくりの内容

#### ○農業生産面

地域再生活動の拠点として開設した「ふるさと交流館」で毎月第1日曜日に「ふれあい朝市」を開催しており、野菜や山菜のほか椎茸うどんなどの加工品も販売し、会員の農業所得の向上に寄与している。

また、郷土料理「にわだま鍋」の具材として用いられる「岩川地鶏」を商品化し、好評を得ている。

この他、高齢農家の労働力不足を補うため、「援農隊」派遣による農作業支援等も行っている。

#### ○生活・環境整備面

女性会員が中心になり、毎週日曜日に「ふるさと交流館」で日用必需品を販売したり、喫茶コーナーで食事を提供するなどの取組により、交流館は地域コミュニティ活動の拠点となっている。

また、地域の観光資源である「房住山」を核とした観光振興を図るため、房住山ガイド養成講座の開催やサイクリングロード「房住山浪漫うた街道」の開設等も行っている。



ふれあい朝市の風景



喫茶コーナー「里」